

平成29年度(2017年度) 大人のための歴史教室 (3回連続講座)

『映画で考える歴史』

原田先生からのメッセージ 歴史を再発見することは楽しいことです。今までずっと思い込んでいたことを違う角度から考えると、その延長にいろいろなことを思い続けることができます。一つだけの歴史像に囚われるより、いくつかバラエティに富んだものから膨らませる楽しさがあります。

今回は、よく知られた名画から、歴史を再発見する試みです。映画の原作者や監督は、自分の生きている時代をその作品の中に投影させます。それは何なのか、皆さんと一緒に見つけていきましょう。

第1回 9月23日(土) 「ジョン・フォード『駅馬車』と南北戦争」

ジョン・フォード監督、ジョン・ウェイン主演の『駅馬車』は西部劇の古典と言われてきました。アメリカの西部進出、それをめぐる白人同士の対立、白人の進出に対する先住民の抵抗と「西部開拓史」の典型という評価です。この映画には「南北戦争後」という社会も描かれています。どんな社会の描き方なのか興味を持たれるでしょう。また「南北戦争」という用語は日本でのみ通用し、アメリカ合州国では通用しません。それはなぜかを映画を通じて考える機会にもなるでしょう。

第2回 10月21日(土) 「『マイ・フェア・レディ』とロンドン・アメリカ」

オードリー・ヘップバーン主演のミュージカル映画『マイ・フェア・レディ』は、ロンドンの花売り娘が、言語学者ヒギンズ教授により「完璧な英語」を獲得し、恋に落ちるというラブ・コメディです。この中にはロンドンという街、そこに住む様々な人たちが描かれています。アメリカさえ登場します。原作者のバーナード・ショーはアイルランド出身で、言葉に関心があったのでしょうか。言葉が創る社会のあり方、というものにも気づかされます。

第3回 11月18日(土) 「チャップリン『独裁者』とファシズム」

50歳のチャップリンが、第二次世界大戦開始直後に撮影を始め、ドイツの独裁者を痛烈に批判した映画『独裁者』。これは、1940年に欧米で公開されましたが、日本公開は1960年でした。公開にも歴史が反映しています。またヒトラーは、「帰ってきたヒトラー」や「ヒトラーへの285枚の葉書」など現代でも映画にされ、時代を批判的に考える材料となっています。私たちがチャップリンの心からの言葉に耳を傾けてみましょう。

(当館では、10月29日(日)の映画上映会にて映画『独裁者』を上映いたしますので、ぜひご覧ください。)

時間はすべての講座とも、14時00分～15時30分

講師 佛教大学 歴史学部

教授 原田敬一氏

○経歴：大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）

○主要研究領域：日本近現代史

○著書：『日本近代都市史研究』、
『国民軍の神話 - 兵士になるということ』、
シリーズ日本近現代史③『日清・日露戦争』、
『「戦争」の終わらせ方』など多数。



会場：滋賀県平和祈念館（東近江市下中野町431番地）

お問い合わせ・お申込みは、平和祈念館まで。

電話：0749-46-0300 ファックス：0749-46-0350

メール：heiwa@pref.shiga.lg.jp

- ・各回のみのご参加もいただけます。
- ・2階 研修室にて行います。
- ・定員は80名です。（申し込み先着順）
- ・参加費は無料です。

平成 29 年度 大人のための歴史教室

『映画で考える歴史』（3回連続講座）

参加申込書

9月23日（土） 10月21日（土） 11月18日（土）	に開催される (参加される日にちに○をつけてください。)	
大人のための歴史教室『映画で考える歴史』に () 名で参加します。		
お名前（代表者）		
ご住所		
お電話番号		

滋賀県平和祈念館 FAX 番号 〇 7 4 9 - 4 6 - 0 3 5 〇

おかけ間違いのないようにお願いします。

戦争体験を聞く会のご案内

9月10日（日）13:30～

「近江八幡への疎開と大阪空襲」

吹田市在住・樋口良次さん（昭和7年生まれ）

10月15日（日）13:30～

「一式陸攻操縦士として要務飛行に携わり…

- 硫黄島・国内各地 -」

草津市在住・田中 修さん（大正11年生まれ）

11月12日（日）13:30～

「ウルップ島から北サハリン・オハ捕虜収容所へ」

甲賀市在住・山中隆一さん（大正10年生まれ）

地域交流室展示のご案内

○児童生徒向け体験型学習展示

*戦争と戦時下の生活を体感できる体験展示

9月9日（土）～12月24日（日）

滋賀県平和祈念館 位置図

